

伊勢原協同病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名	小児期における起立性調節障害の原因解明
2. 承認日 承認番号	令和2年9月17日 No.112
3. 当院の研究責任者	小児科 杉山延喜
4. 他の研究機関 研究責任者	東海大学医学部基盤診療学系・臨床薬理学 准教授 小見山智義
5. 本研究の目的	成人において突然の一過性意識消失を頻回に引き起こす血管迷走神経性失神(vasovagal syncope:VVS)患者では、アドレナリン受容体遺伝子(ADR- α 2B)と血管平滑筋収縮機能に深く関わる血中アデニレート酸シクラーゼ(Adenylate cyclase:AC)活性量が病態と深く関連していることがわかってきた。一方、VVS患者の既往歴を調べてみると、小・中学生の時期にも一過性の意識消失、ふらつきや目の前が暗くなるといった“前失神”が頻回にあったことがわかってきた。小児期では、VVSを含めた自律神経系の調節機構の不調、破綻は起立性調節障害(orthostatic dysregulation:OD)と言われ、各種病態分類されている。今回我々は、小児期(対象8・15歳)においてODと診断された患児に、疫学データをはじめ、アドレナリン受容体遺伝子(ADR- α 2B)多型解析とAC活性量を実施し小児期からの病態関連を多角的視点から検討することを目的とする。
6. 調査データ 該当期間	2021年1月1日～2026年3月31日
7. 研究の方法 (使用する試料等)	1) 対象となる患者さま 上記期間内に当院にて起立性調節障害と診断された方。 2) 利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録を利用する 日常診療で採血を行った残余血液を提供する
8. 試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	東海大学医学部基盤診療学系 臨床薬理学 准教授 小見山智義先生に血液検体を提供する。当院で採血を行い、用意した特殊試薬のはいったスピッツに挿入する。 共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供
9. 個人情報の取り扱い	本研究で利用する情報は、患者さまを直接特定できる個人情報を削除いたします。本研究で利用する情報は、本研究の責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる情報は利用しません。
10. お問い合わせ	伊勢原協同病院 小児科 担当者：杉山延喜 電話：0463-94-2111
11. 備考	